



乱舞し、氾濫する色彩!
若きカリスマ ソビエフが導く
名フレンチ・オーケストラの響き

ベルリオーズ/ローマの謝肉祭

ラヴェル/ボレロ

ベルリオーズ/幻想交響曲

トウガン・ソビエフ 指揮 トゥールーズ・キャピトル 国立管弦楽団



2012年 12/11 火 PM6:45

愛知県芸術劇場コンサートホール

S ¥ 16,000 A ¥ 13,000 B ¥ 10,000
C ¥ 8,000 D ¥ 6,000 学生 ¥ 3,000 (税込)

学生券 ご希望の方は往復ハガキに、希望公演名、公演日時、住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学籍番号を明記の上、中京テレビ事業「学生券」係までお申込みください。公演の3週間前に抽選の上、お席をお取りできるか否かご連絡致します。往復ハガキ1枚につき、1公演1名様でお願い致します。

■出演者、プログラム内容等変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
■未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断り致します。

主催/中京テレビ放送 企画・運営/中京テレビ事業

お問合せ お申込み 中京テレビ事業 ☎052-957-3333

〒460-8613 名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル6F (月~金 AM9:30~PM5:30/土・日・祝日休業)

<http://cte.jp> 中京テレビ事業 検索

座席表からお席をお選びいただけます!

5/26(土) 発売開始!
AM10:00~

チケットぴあ (Pコード 164-524) 0570-02-9999
ローソンチケット (Lコード 48996) 0570-084-004
愛知芸術文化センターPG 052-972-0430
栄フレチケ92 052-953-0777
e+ (イープラス) eplus.jp
他 有名プレイガイド

30th
Nagoya
Classic Festival
2012

「目の覚めるような」このコンビ初の来日公演から3年。 若き天才指揮者はさらなる次元へステップ・アップ。 はじける色彩美とドラマがますます増幅する!

トゥールーズ・キャピトル管弦楽団は1737年創設の老舗。2003年まで35年にわたるブラッソン時代に大躍進した。特徴は、パリの楽団以上にフランス的な色彩感。特にブラッソンとのラヴェルにおける光輝なサウンドは、いまだ忘れがたい。その後任がトゥガン・ソヒエフ。同郷ゲルギエフの薫陶を受けた彼は30代ながら一流楽団に次々と客演し、劇的かつ緻密な表現力で皆を驚嘆させている。2009年の快演に続く今回は、コンビ5年目の深化が注目点。

柴田克彦 音楽評論家

ラヴェル「ボレロ」、ベルリオーズ「ローマの謝肉祭」「幻想交響曲」のオール・フランス・プログラム!



トゥガン・ソヒエフ (音楽監督)

Tugan Sokhief, Music Director

30代の若さながら、既にベルリン・ドイツ響、フィンランド放響、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、ミュンヘン・フィル、ミラノ・スカラ座管、フィルハーモニア管、ウィーン放響、バイエルン州立歌劇場管、フランス国立管、ローマ・サンタ・チェチーリア管といった世界中の一流オーケストラに客演を続け、短期間のうちにヨーロッパで確固たる地位を築きあげた、現代最も注目される指揮者の一人。

トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団の首席客演指揮者と芸術顧問を3年間務めた後、'08/'09シーズンから音楽監督に就任。

'02年、ウェールズ国立オペラで「ラ・ボエーム」を指揮してイギリスでのオペラデビューを飾った後、数々のオペラを手掛け、'03年「エフゲニー・オネーギン」でニューヨークのメトロポリタン・オペラにデビューした。エクサンプロヴァンス音楽祭(「3つのオレンジへの恋」を指揮)やルクセンブルクの歌劇場、またマリinskyキー劇場では「金鶏」、「イオランタ」、「サムソンとデリラ」、「エフゲニー・オネーギン」など毎年新演出を含む数々のオペラを指揮、トゥールーズ・キャピトル劇場では「くるみ割り人形」、「スペードの女王」を指揮、そのほか世界中の主要歌劇場やオーケストラから招かれ、そのいずれもが高く評価されている。

'05/'06シーズンにおけるシャンゼリゼ劇場でのトゥールーズ・キャピトル国立管との

演奏により、ソヒエフはフランス音楽批評家協会より「今年の音楽界の新鋭」に選ばれた。

また、ローマ・サンタ・チェチーリア管、アルトゥーロ・トスカニーニ響、NHK響、ロシア・ナショナル・フィルにも客演、フィンランド放響、ウィーン放響、オスロ・フィル、フランス国立管との定期的な公演や、ベルリン・ドイツ響、マラー・チェンバー・オーケストラ、フィルハーモニア管の定期演奏会やツアーを行った。トゥールーズ・キャピトル国立管では、'09/'10シーズンに録音や初の極東ツアーを含む世界ツアー、キャピトル劇場でのオペラ公演などを行った。'10年にはベルリン・フィルハーモニー管弦楽団にデビューした。



トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団

Orchestre National du Capitole de Toulouse

トゥールーズ・キャピトル歌劇場でのオペラ上演のために19世紀初頭に創設された。交響楽団として活動を開始したのは1945年以降で、アンドレ・クレイタンスとジョルジュ・プレートルらの大指揮者が指揮する中、'68年にミシェル・ブラッソン(現在は名誉指揮者)が音楽監督に就任したのを機に、その活動はフランス国内だけでなく海外へと広がり、パリのオーケストラ以上の色彩を実現した彼らの名声は著しく高いものとなった。

その後マルセル・ランドウスキーのもとで実施されたオーケストラの組織再編によっ

て楽員数が増え、'80年にフランス文化省により「国立管弦楽団」の名称を与えられた。

ソヒエフとはナイーヴ・クラシックに2枚のCDを録音している。初の録音となったムソルグスキーの「展覧会の絵」とチャイコフスキーの「交響曲第4番」がカップリングされたCDは、'06年にリリースされるや否や聴衆や評論家から絶賛された('07年1月にはグラモフォン・エディターズ・チョイスに選ばれている)。2枚目の録音はヴァレリー・ルメルシェをナレーターに迎えてのプロコフィエフ「ピーターと狼」で、'07年秋にリリースされた。